第3号様式（障）

**障害福祉分野就職支援金貸付事業における個人情報の取扱いについて**

1.　個人情報の利用目的

　　　障害福祉分野就職支援金貸付事業(以下「本事業」という)の円滑な実施のため、貸付・返還の状況について正確に把握することを目的として個人情報を取得・利用いたします。

2.　個人情報の取得について

　　　本会は、本事業に際して個人情報を取得する時は、必要な情報のみを、適法且つ適正な方法により取得するものとします。

3.　個人情報の利用について

　　　本事業において個人情報を利用する場合は、利用目的の範囲内として、本会の本事業担当者により利用することを原則とします。但し、事業の目的を達成するために必要な範囲において、都道府県社会福祉協議会、自治体及び公共職業安定所、障害福祉施設・事業所、医療機関、福祉関係機関、企業等の関係機関、その他行政機関等の外部に対して個人情報を提供し、又個人情報を取得します。

4.　個人情報の本事業目的以外への利用及び第三者への提供について

　　　本事業を通じて収集した個人情報については、本人の同意なく、本事業の目的以外へ利用すること、及び上記「3. 個人情報の利用について」において示した外部への提供を除き、第三者へ提供することは致しません。但し、下記の例のような場合には、あらかじめ同意を得ないでお伝えした目的以外の利用、第三者への提供をすることがあります。

　　　・弁護士法に基づいた弁護士による照会に回答する場合。

　　　・火災・災害なとの緊急時で、人の生命・身体、財産の保護のために必要がある場合。

　　　・税務署からの照会、警察・検察からの捜査協力依頼などで、本人に知らせることでその事務に支障を及ぼすおそれがある場合。

5.　個人情報の管理について

本事業利用に関する個人情報については、書面および情報シムテムにつながったコンピューターに入力し、個人データとして本事業担当者の管理の下、保管・利用します。個人データについては、常に正確且つ最新の状態に保ち、漏えい・毀損のないように努めます。個人データを管理するコンピューターの保守を委託している業者とは、個人情報の保護について定めた条項を含む契約を結んでいます。又、返還が完了した貸付けにかかわる個人情報については、返還が完了した年度の終了後10年が経過した時点で、確実に破棄または削除します。

6.　個人情報の本人への開示について

本事業において管理する個人データについて、その開示の申し出がされた場合には、本人であることの確認をした上で、申し出をした本人の個人情報について開示します。但し、開示によって本人または第三者の権利利害を害するおそれがある場合や、本会事業の適正な実施に支障を及ぼすおそれがある場合などには開示しません。

|  |
| --- |
| **障害福祉分野就職支援金貸付事業における個人情報の取扱同意書**  社会福祉法人大分県社会福祉協議会会長 様    障害福祉分野就職支援金貸付事業における個人情報の取扱いについて同意します。  西暦 年 月 日  　　　　 　　　　　　 貸付申請者　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　  (申請者自署)　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ㊞  　　 連帯保証人  (連帯保証人自署)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 ㊞    （（注）貸付申請者と連帯保証人の各々が署名捺印してください。） |